

【学校だより】

南アルプス市立小中一貫校 芦安小中学校

芦安っ子

【学校教育目標】

郷土を愛する心と夢を育み
未来を拓く人づくり

令和2年12月18日 NO.8 芦安小学校長

二学期を振り返って

8月20日に始まった長い2学期も、来週のと3日を残すだけになりました。振り返るとたくさんの行事がありましたが、子どもたちはその一つ一つを通して学年に応じた確かな成長をしてきたと感じています。様々な制約の下ままならないことも少なくありませんでしたが、子どもたちが笑顔あふれる喜びを感じることができたのは、保護者や地域の皆様の支えや協力があったからこそと感謝しております。

2学期は多くの保護者の皆様とお話する機会がありました。どなたのお話からもわが子の成長を願う温かい気持ちを感じられました。来年も協力して子どもたちの教育を進めることができるよう、どうぞよろしくお願いいたします。

24日からは15日間の冬休みになります。コロナ禍で昨年度とはだいぶ様相が違う休みになりそうですが、この時期しかできない学びをさせたいものです。そして、何よりも健康で過ごす冬休みにしてください。コロナ感染症は終息の兆しが見えません。また、インフルエンザ等の感染症も心配される時期です。くれぐれもご用心ください。1月8日（金）の3学期始業式では、子どもたちの元気な「おはようございます」の声で新しい年を迎えられることを願っています。

実りある二者懇談に

二者懇談は、子どものより良い成長を願い、保護者と担任が話し合い、互いに子どものためにできること、すべきことを話し合う場です。短い時間ではありますが、貴重な時間をいただいている懇談です。学校生活のこと、ご家庭でのこと、遠慮なくお話しください。実りあるものになるようご協力をお願いいたします。お待ちしております。

あまご放流プロジェクト

11月12日に、地域の方々からアマゴの卵をいただきました。約40年前は御勅使川にもたくさんのおアマゴがいたそうです。今回のプロジェクトは、御勅使川に再びアマゴを呼び戻そうという



この状態でいただきました。イクラのようです



数日で孵化し、今では体長3センチくらいになりました

地元有志の取組の一つです。今は卵からかえり、元気に泳ぎ回っています。近いうちに御勅使川に放流する予定です。水槽は玄関わきに設置しました。機会があればご覧ください。

巣箱づくりと野鳥の学習

12月15日、地域在住の伊東隆雅さんと竹本りつ子さんを講師に迎え、野鳥の学習と巣箱づくりをしました。野鳥の学習では実際と同じ重さのものを手にして鳥の軽さを実感し、本物の鳥の巣や蛇の抜け殻など、実物を使った説明を興味深く聞いていました。巣箱づくりは5・6年生が下級生を手伝う形で進めました。みんな金づちの使い方が上手になりました。作った巣箱を5・6年生は3学期に学校林に設置する予定です。1～4年生は持ち帰りますので、可能ならば保護者のご指導の下で適当な場所に設置してください。

なお、今回の巣箱づくりにあたり、講師をしていただいた伊東さんが、事前に児童全員分の板を切り、穴をあけ、しかも一人一人分を小分けにするなどして材料の準備をしてくださいました。本当にありがたいことだと思います。



向かって左が竹本さん、右が伊東さん



上級生の援助で巣箱を作ります。



完成。

外部指導者による書写指導

ここ数年、書写の時間の外部指導者として井川蓮水（いがわ れんすい）先生をお迎えし、毛筆と硬筆の指導をいただいています。子どもたちは、普段国語の授業での書写とは一味違った緊張感と達成感を感じている様子でした。



「芦小タイム」の長縄跳び

今、「芦小タイム」の時間で長縄跳びに取り組んでいます。はじめはぎこちなかった1年生も、とても上手になりました。6年生の、下級生のことを考えた動きや声掛けにはいつも感心させられます。先日の一日体験入学で来校した児童も自然に輪に入って楽しんでいました。

